

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	22	事業名	生涯学習推進事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	社会教育法、第2次長久手市生涯学習基本構想、ながくて・学び・アイ講座運営要綱	9-4-1 社会教育総務費	
	事業開始の背景、経緯等	社会教育法に基づき、地域住民に学習の機会を提供し、社会教育を奨励するため、市民が学習意欲を持つきっかけとなるような公民館講座を開講している。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 第2次長久手市生涯学習基本構想に基づき、市民が学習意欲を持つきっかけとなるような公民館講座を開講する。また、市民による自主的な学習を支援する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住・在勤・在学の人(講座により市外の人にも応募可) ※対象あたりのコストは、講座参加者数を用いて算定
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 豊かな学習機会を提供し、市民の学習意欲の向上や生きがいづくりを目指す。また、市民が交流できるきっかけづくりを行い、地域人材の育成や、地域での学びあい、仲間づくり・居場所づくりを促進する。

コスト推移	項目	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
	事業費(A)	千円	予算	1,926	1,689	1,689	1,818	744
	決算		1,632	1,222	1,110	397		
人件費(B)	千円	決算	5,236	4,878	4,218	3,180		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	6,868	6,100	5,328	3,577		
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		587	498	458	294	150	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		12	12	12	12		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
	全講座の平均満足度	%	目標	80	80	80	80	80
			実績	84	87	86	87	
(指標の設定根拠)	(数値目標の根拠)							
講座満足度は、受講生の学習意欲を満たした指標であり、受講生が充足感を得ることが、学習の継続や生きがいにつながっていくため。	講座満足度80%が、講座に満足したか満足していないかの境目の数値であることが、受講者アンケートのコメント等から読み取れるため。							
(前年から指標を変更した場合はその理由)								
(前年までの指標)								

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 平均満足度は目標を達成している。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 地域に密着した講座を行うため市民団体に講師を依頼するなどしたところ、平均して87%の満足度であった。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 講座名や時間帯などを工夫することにより、受講希望者を増やす取組が必要である。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	生涯学習推進事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
事業を構成する事務事業①	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	300	150	300	300	300
			実績	294				
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】 公民館講座開講数	講座	見込	40	10	20	20	20
	実績		20					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>								
R2年度は、ながくて・学び・アイ講座9講座、公民館講座4講座、大学連携講座2講座、ながくて市民大学5講座を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館講座が2講座中止となり、ながくて・学び・アイ講座の開講率が41%と低かった。R3年度は公民館が新型コロナウイルス感染症ワクチン接種会場となり、R3年3月下旬から10月まで休館することとなったため、講座数を大幅に減少させることになった。また、R3年度以降は、大学連携講座、ながくて市民大学等を廃止するため、参加人数や講座数を少なく見込んでいる。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②	生涯学習推進事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
事業を構成する事務事業②	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
	実績							
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>								
							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③	生涯学習推進事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
事業を構成する事務事業③	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
	実績							
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>								
							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) ・より多くの市民に参加してもらえるようにするため、受講生へのアンケートに基づき、毎年の講座内容の見直しを行う。また、例年と同じ講座でも、講座名や時間帯を工夫する。 ・講座終了後も自主的に学習活動ができるよう、講座内で学習サークルの設立案内等を行う。
	中長期の目標	(いっごうまでに事業をどのような状態にしたいか) 講座修了後の学習活動の継続を促し、自主的な学習を引き続き支援していく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・他課が実施する類似講座等とのさらなる統廃合を含めた連携を検討してください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、生涯学習講座の統廃合を含む整理に寄与できるよう取り組んでください。
内部意見への回答		